

第116期 株主通信

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

GUNZE

株主のみなさまへ



長井アパレル有限会社（山形県長井市）

大正9年（1920年）、製糸工場として設立された長井工場は、その後、肌着の生産工場に転換、平成4年（1992年）に現在の長井アパレル有限会社となりました。石碑は、製糸業が盛んだった頃に地元の養蚕家より寄贈していただいたもので、「我等の工場」と刻まれております。毎年5月下旬には、樹齢100年近い白つつじが見事に満開になります。

グンゼ株式会社

証券コード 3002

株主のみなさまへ

当社グループは、「品質第一」と「技術立社」を基盤に、創業の精神である「人間尊重」「優良品の提供」「共存共栄」を企業理念として顧客起点の事業運営を行っております。このような理念のもと、企業の社会的責任（CSR）に積極的に取り組み、お客さま満足と持続的な企業価値向上の実現に努めてまいります。



代表取締役会長 (CEO)
平田 弘

代表取締役社長 (COO)
児玉 和

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、当社グループは、平成24年3月末をもって第116期を終了いたしましたので、ご挨拶をかねて連結決算概況についてご報告するとともに、当社のセグメント別事業内容などについても併せてご報告申しあげ、ご理解を賜りたいと存じます。

»» 当期(平成24年3月期)の経営成績

当期のわが国経済は、東日本大震災による甚大な影響やタイの洪水被害から緩やかに回復する動きが見られ、また、年度末にかけては歴史的な円高基調も一段落し、株価の回復や企業業績の上振れ期待など一部に明るい兆しはあったものの、欧州債務危機や中国および新興国経済の成長鈍化等、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループにおいては、機能ソリューション事業は、欧米の景気減速や円高定着による受注減少により、総じて低調な経営環境が続きました。アパレル事業は、大手流通のPB（プライベートブランド）商品の戦略的拡大などで競争が激化するなか、NB（ナショナルブランド）商品が苦戦し、売上減少と採算性の悪化に歯止めがかかりませんでした。

このような状況のなか、当期からスタートした中期経営計画『Innovation 4S（平成23年度～平成25年度）』の重点戦略である「成長確保」と「体質強化」を展開し、激変する市場環境への対応力強化に取り組みました。その結果、当連結会計年度の売上高は136,621百万円（前期比2.2%増）、営業利益は1,023百万円（前期比66.8%減）、経常利益は975百万円（前期比70.3%減）、当期純利益は571百万円（前期比68.2%減）となりました。

»» Contents

- P1-2 株主のみなさまへ/決算ハイライト
- P3-4 機能ソリューション事業
- P5-6 アパレル事業
- P7-8 ライフクリエイイト事業
- P9-10 トピックスで振り返る ― グンゼの1年
- P11-12 連結財務諸表
- P13-14 株式の状況/株主メモ/会社の概況
- P15 株主さま優待について

》次期(平成25年3月期)の見通し

次期の見通しにつきましては、東日本大震災からの復興需要が期待されるものの、欧州債務問題や原子力発電所の停止による電力不足、不安定な中東情勢に起因する原油高や原材料価格の高騰など、企業業績や消費マインドを悪化させるリスク要因を多くはらんでおり、当社グループを取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況が継続するものと予想されます。

このような環境のなかで、当社グループは、事業ごとに重点戦略課題を明確化し、持続的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

機能ソリューション事業は、プラスチックフィルム分野では差異化商品のハイブリッドフィルム(複合ナイロンフィルム、平板収縮フィルム)の拡販に加え、海外会社の経営基盤強化を推進いたします。エンジニアリングプラスチック分野では新機種採用商品の拡大とコストダウン、電子部品分野では透過型静電容量タッチパネルの拡販とともに導電性フィルムや光学フィルム販売にも注力し事業拡大を進めてまいります。

アパレル事業では、市場が拡大しているシーズン・機能商品への積極的な対応を図るとともに主力ブランドである『ボディワイルド』をはじめとするNBの商品力を強化し、新規チャンネルの開拓や市場シェアの拡大を進めます。また、オンデマンド生産やグローバル生産・物流体制の効率化を推進しコスト競争力を強化するとともに、国内では直販ビジネスの拡大、海外では中国合弁事業をはじめとした現地販売の拡大に取り組んでまいります。

ライフクリエイト事業では、競争が激化するショッピングセンター事業において、「つかしん」での「にしまち」再開発など魅力あるテナントの導入および地域密着型販促等の強化により、競合他店との差異化をさらに進めてまいります。スポーツクラブ分野においては、サービス向上や魅力的なメニューの導入などお客さま満足向上に向けた積極的な取り組みの継続と4月1日開店の京都店をモデル店舗とした都市型フィットネスクラブの展開拡大などにより収益力の向上を図ってまいります。

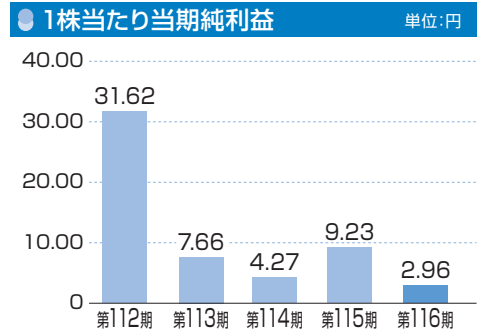
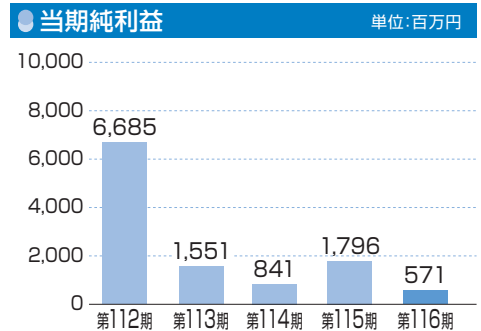
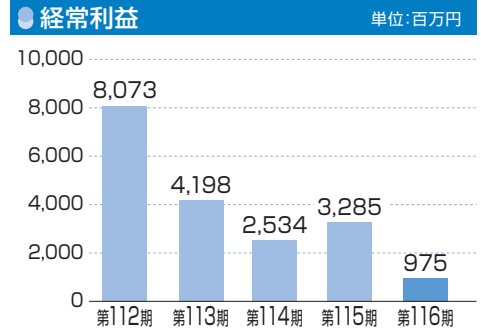
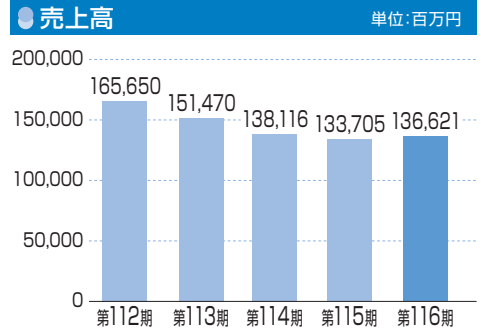
以上により次期(平成24年4月1日から平成25年3月31日)の連結業績につきましては、売上高141,500百万円、営業利益3,600百万円、経常利益3,400百万円、当期純利益1,600百万円を予想しております。

なお、平成24年6月26日開催の第116期定時株主総会後において行われた取締役会において、平田弘が代表取締役会長に、児玉和が代表取締役社長にそれぞれ就任いたしました。新たな体制のもと、一層の企業価値向上に努めてまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月

代表取締役会長(CEO) **平田 弘**
代表取締役社長(COO) **児玉 和**

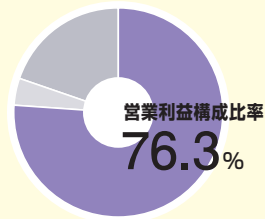
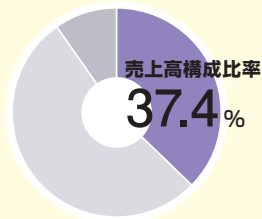
》決算ハイライト



機能ソリューション事業

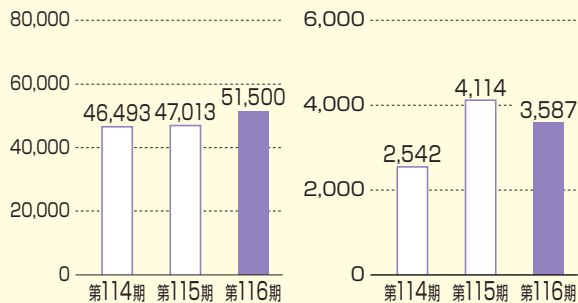
売上高
51,500 百万円
[前期比 9.5%増]

営業利益
3,587 百万円
[前期比 12.8%減]



● 売上高 単位:百万円

● 営業利益 単位:百万円



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

》》 営業概況

プラスチックフィルム分野では、上期は東日本大震災の影響による前倒し需要などから堅調に推移しましたが、下期以降は流通在庫の増加および海外からの廉価品流入などから販売が伸び悩みました。エンジニアリングプラスチック分野では、長引く円高や欧米の景気低迷に加え、タイ洪水の影響による得意先の操業度の低下もあり、厳しい経営環境が続きました。電子部品分野は、上期に大きく伸ばしたタブレット端末向け透過型静電容量方式タッチパネルが、下期に入り急激な市況悪化による減産などから苦戦を強いられました。メディカル分野は、中国をはじめアジア地域が堅調に推移しました。以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は51,500百万円（前期比9.5%増）、営業利益は3,587百万円（前期比12.8%減）となりました。

事業内容と主な動き

プラスチックフィルム分野

ペットボトルのラベルに使用するフィルムや、野菜の包装用くもり防止フィルムなど、環境に配慮し時代のニーズに合った製品を開発・製造・販売しています。また、今後の成長が期待される包装用複合ナイロンフィルム「ヘプタックス」の生産能力を増強いたしました。

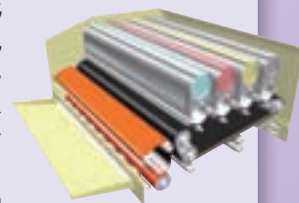


包装用フィルム
「ヘプタックス」

プラスチックフィルムの製造・加工を行っている福島プラスチック（株）は、震災直後に当社の肌着を救援物資として提供、震災復興支援に貢献したとして、福島県本宮市より感謝状を受けました。

エンブラ分野

複写機などのOA機器用部材をはじめ、半導体製造時の超純水フィルター部材等に使用されるエンジニアリングプラスチックの成型・加工・販売で、高いシェアを保有しております。今後も高付加価値を追求した新製品の開発等に取り組んでまいります。



OA機器内部の部材

メカトロ分野

包装、印刷業界向けを中心に、お客さまの様々なニーズにおこたえして自動化、省力化機器を製造しています。現在、国内だけでなく、中国をはじめ東南アジアなど海外展開を積極的に進めています。



中国の製造現場

電子部品分野

デジタル化が進む家電製品や、スマートフォンやタブレット端末などに使用されるタッチパネルは、様々な生活シーンに向けてますます重要性が高まっています。軽量・薄型など高性能なタッチパネルに対応する細線パターンの開発に取り組んでいます。



タブレット端末

導電性フィルムの生産能力拡大



郡宏光電にてテープカットの様子

フィルムの導電加工能力を増強するため、台湾の合併会社、郡宏光電股份有限公司に2台目のスパッタ機を導入し、12月13日に始動式を行いました。



亀岡工場新棟外観

フィルム加工能力を増強するため、亀岡工場に3号機目となるコーティング機を増設し、3月6日に始動式を行いました。

メディカル分野

生体吸収性の素材を用いた医療材料を中心に製造・販売しています。売上の約40%を海外で占めており、今後も中国を中心にさらなる海外展開を図ります。



吸収性骨接合材「グランドフィックス」

高齢者にも使いやすい 血糖値センサー「ライフチェック」を新発売!

(1/27)

簡易型の血糖値センサー「ライフチェック」を発売しました。見やすいカラー液晶画面や、血液を点着しやすい仕様になっているため、高齢者の多い糖尿病の患者さまにも使いやすいです。

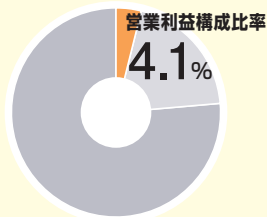
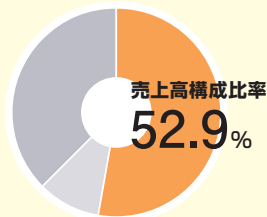


「ライフチェック」一式

アパレル事業

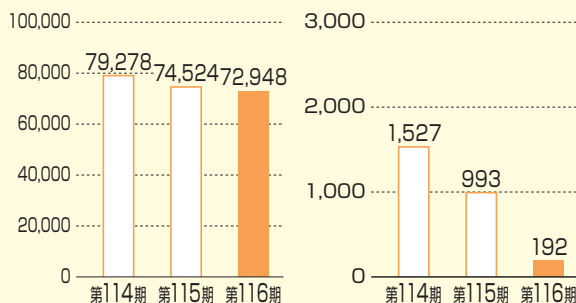
売上高
72,948百万円
【前期比 2.1%減】

営業利益
192百万円
【前期比 80.7%減】



● 売上高 単位:百万円

● 営業利益 単位:百万円



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

》》 営業概況

インナーウェア分野では、ファッション・カジュアル商品やシーズン機能商品を中心にNB商品の拡販に取り組みました。また、綿糸などの原材料価格高騰に対して、一部の綿製品価格を改定しましたが、資源価格等の高止まりや効率悪化もあり苦戦しました。レディスインナーについては、不採算店舗からの撤退等により収益を改善しました。レッグウェア分野は、ファッション商品が苦戦しましたが、機能性を打ち出したベーシック商品が好調に推移しました。また、パンティストッキングのプレーン商品が復調傾向にあり、本年2月に発売開始したストッキング『Mirica』（ミリカ）も好調に推移しました。以上の結果、アパレル事業の売上高は72,948百万円（前期比2.1%減）、営業利益は192百万円（前期比80.7%減）となりました。

インナーウェア分野

桐谷美玲さんを起用!
『BODY WILD (ボディワイルド)』
新キャラクター発表会
(1/20)

若い世代を中心に幅広い層に人気の桐谷美玲さんを、『BODY WILD』のイメージキャラクターに起用しました。

『BODY WILD』は、着用時のシルエットとフィット感を向上させ、スマートなスタイルのインナーウェアをコーディネート提案しています。



イメージキャラクターの桐谷美玲さん

北京愛慕郡是服飾有限公司開所式を挙行

(10/24)

中国の大手婦人インナーメーカー「北京愛慕內衣有限公司」との合併会社「北京愛慕郡是服飾有限公司」の開所式を行いました。新合併会社では、グンゼの強みである「商品開発力」「品質管理力」「生産技術力」と、愛慕の強みである「中国での販売力」を合わせ、市場開拓のスピードを上げてまいります。



常州 万博モールの専門店
(5月オープン)

レッグウエア分野

武井咲さんを起用! ストッキングの新ブランド 『Mirica (ミリカ)』発表会 (1/26)

新ブランド『Mirica』は、'ニッポン女子の“カワイイ”を脚もとからメイクする!'をコンセプトに、気分に合わせて選ぶことのできる新しいレッグウエアブランドです。

『Mirica』のイメージキャラクターにはTVドラマやCMで大活躍の武井咲さんを起用、さまざまなスタイリングでストッキングの新たな魅力をアピールしています。



イメージキャラクターの
武井咲さん

ハウスカジュアル分野

パジャマサイトがイメージを一新してリニューアル! 眠りとパジャマのサイト「グーミン」がオープン (3/6)

製品情報だけでなく、眠りに関するさまざまな情報を発信するサイト「グーミン」を公開しました。眠りに関するいろいろな悩みなど、快眠に関する総合サイトです。

<http://www.guumin.com> ←詳しくはこちらから



婦人長袖パジャマ



イメージキャラクター
“メリーブ”

繊維資材分野

バングラデシュに合弁会社を設立

ミシン糸の海外需要拡大に合わせ、バングラデシュ人民共和国に現地企業との合弁会社「グンゼ・ユナイテッド」を設立、平成25年7月の稼働の予定です。

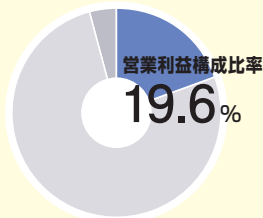
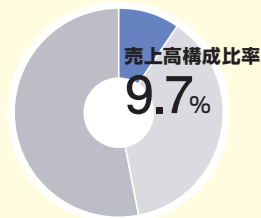


縫製用ミシン糸

ライフクリエイト事業

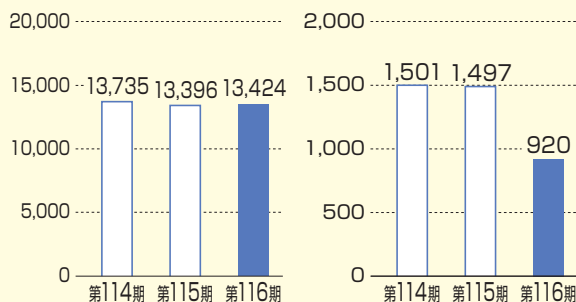
売上高
13,424百万円
[前期比 0.2%増]

営業利益
920百万円
[前期比 38.5%減]



● 売上高 単位:百万円

● 営業利益 単位:百万円



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

》》 営業概況

不動産関連分野は、商業施設「グンゼ タウンセンター つかしん」が、新規テナント導入や地域密着型の販促に努めましたが、消費低迷や近隣商業施設の開店・増床の影響を受けたほか、本年10月リニューアルオープンを予定している「にしまち」工事の影響等もあり、来街者数・売上高ともに苦戦しました。また、テナント誘致を進めていた前橋商業施設「リリカ」は、昨年12月にリニューアルオープンしました。スポーツクラブ分野は、新規顧客の獲得に注力した結果、会員数が増加し、堅調に推移しました。以上の結果、ライフクリエイト事業の売上高は13,424百万円(前期比0.2%増)、営業利益は920百万円(前期比38.5%減)となりました。

商業デベロッパー分野

「つかしん」(兵庫県尼崎市)をはじめ、当社保有の不動産を利用して商業デベロッパー事業を行っております。

新生「前橋リリカ」がグランドオープン!

(12/8)

旧「前橋サティ」の跡地にショッピングセンター「前橋リリカ」がグランドオープンしました。オープン式典には前橋市長などが列席され、開店を待つ多くのお客さままでにぎわいました。

新生「前橋リリカ」は、“パワフルライフタウン”をコンセプトに、地域密着型のリーズナブルで豊富な品揃えや、立地の良さでお客さまに愛される商業施設を目指します。



「前橋リリカ」テープカットの様子

「つかしん」の一部をリニューアル中

競争が激化する阪神間において、競合他社とのさらなる差異化を追求して、「つかしん」内の一部施設「にしまち」を改装、平成24年秋にリニューアルオープンの予定です。

工事中の
「にしまち」



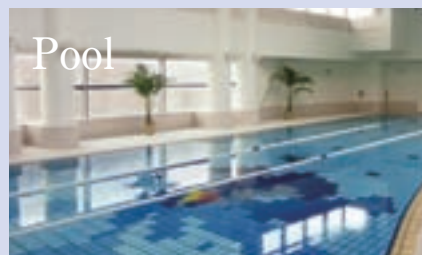
スポーツクラブ分野

地域に密着したスポーツクラブとして、「健康・感動・安心」をキーワードに質の高いサービスとメニューを提供しています。

「グンゼスポーツクラブKyoto烏丸六角店」がオープン! (4/1)

京都で初の店舗となる「グンゼスポーツクラブKyoto烏丸六角店」が平成24年4月1日にオープンしました。

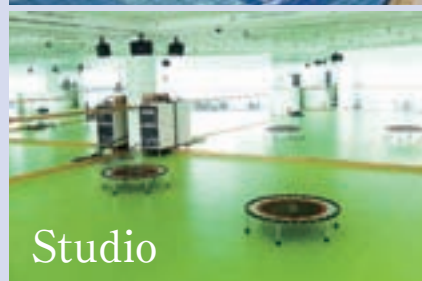
京都の町並みを一望できる開放的なジムやプール、マシンスタジオ、シミュレーションゴルフなど最新の設備を完備し、利用頻度に応じた料金が選択できます。また、ラウンジではインターネットに接続でき、運動以外にも楽しめるスポーツクラブです。ビジネス街で新たな客層を獲得してまいります。



Pool



Gym



Studio



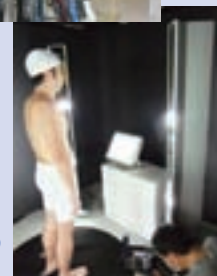
クラブ内施設

3D測定でつくる スポーツタイトを開発

グンゼスポーツクラブでは、3D測定器を使ってヒップや太もも周りなどを測定したデータをアパレルカンパニーの宮津工場に送り、理想的なカスタムメイドのスポーツタイトを約2週間で提供しています。



タイトの柄を選択



体形測定の様子

エンジニアリング分野

省エネ、省資材、PM診断などの技術やノウハウを活用した「ESCO事業」を展開しています。特に近年の省エネニーズの高まりに対応し、ビルや工場などの建物の省エネ化に必要な「技術・設備・人材・資金」などを包括的にマネジメントするサービスを提供しています。



※PM診断とは…保全設備診断
(Productive Maintenance)
※ESCO事業とは…Energy Service
Companyの略

省エネ診断業務の様子

トピックスで振り返るーグンゼの1年

人気アニメ「ONE PIECE」シリーズが「BW-fit(BWフィット)」のカスタマイズパンツとして登場しました。(6/22)



インナーウェア分野

ウォームビズに最適。『サブリナ』ウォームパイルタイツを新発売しました。(8/24)



レッグウェア分野

テレビ番組「王様のブランチ」に『BODY WILD』のカスタマイズパンツが紹介されました。(10/29)

インナーウェア分野

新生「前橋リリカ」がグランドオープン！開店を待つ多くのお客さまでにぎわいました。(12/8)
※7ページご参照



商業デベロッパー分野

平成23年

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月



展示ブースの様子

第38回国際福祉機器展に出展
ハンドメイドから最先端技術までの福祉機器を集めた展示会に、健康支援パジャマと介護インナーを出展しました。(10/11)

インナーウェア分野



つかしん天然温泉「湯の華廊」にナノ・高炭酸泉を導入しました。(6/14)

温浴分野



出前授業の様子

**インナーの
出前授業を実施**

小中学生向けにインナーの正しい着用法やジュニアブラジャーの重要性をアドバイスする出前授業を定期的実施しています。

インナーウェア分野

「先端材料技術展2011」に
SiC繊維複合材を出展

炭素繊維複合材をはじめ、話題の先端材料が中心となる展示会に出展。出展者ワークショップにおいては、「エネルギー・航空宇宙用途へのSiC材料の事業化」についての発表を行いました。(11/9~11)



開発事業分野

郡宏光電が生産ラインを増設。
(12/13)※4ページご参照

電子部品分野

桐谷美玲さんを起用!
『BODY WILD』新キャラクター発表会 (1/20)
※5ページご参照



インナーウェア分野

血糖値センサー「ライフチェック」を新発売! (1/27)
※4ページご参照



メディカル分野

「グンゼスポーツクラブKyoto烏丸六角店」がオープン! (4/1)
※8ページご参照

スポーツクラブ分野

平成23年8月から平成24年3月まで「がんばろう!東北キャンペーン」を実施。東北グンゼ生産の肌着売上の一部を「あしなが育英会」に寄付しました。なお、この活動は4月以降も継続しています。(4/27)



インナーウェア分野

平成23年8月から平成24年3月販売分
総額 7,202,064円



工事中の「にしまち」

「つかしん」の一部をリニューアル工事開始。
※7ページご参照

商業デベロッパー分野

平成24年

1月

2月

3月

4月

株主優待において、「東日本大震災支援への寄付」の選択をご用意いたしましたところ、多くの株主さまより温かいご芳志を賜り、下記団体へ寄付させていただきました。(1/31)

団体名	寄付金額
あしなが育英会	1,488,000円
日本赤十字社	333,000円
日本ユニセフ協会	390,000円
	計 2,211,000円

武井咲さんを起用!『Mirica』
新ブランド発表会 (1/26)
※6ページご参照

レッグウェア分野

ナノテクノロジー展に出展
DPTマルチタッチセンサーや、放射線遮蔽ニット構造物などを初出展し、当社の最新技術を紹介しました。(2/15~17)



開発事業分野

導電性フィルムの生産能力を拡大。
※4ページご参照

電子部品分野

≫≫ 連結貸借対照表

(単位:百万円、単位未満切捨て)

科目	当期	前期
	平成24年3月31日現在	平成23年3月31日現在
資産の部		
流動資産	75,392	67,722
固定資産	93,125	96,194
有形固定資産	68,746	67,468
無形固定資産	1,916	2,190
投資その他の資産	22,462	26,536
資産合計	168,517	163,917
負債の部		
流動負債	43,344	35,257
固定負債	14,975	15,313
負債合計	58,319	50,571
純資産の部		
株主資本	111,752	112,900
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	14,080	14,082
利益剰余金	79,255	80,033
自己株式	△7,655	△7,286
その他の包括利益累計額	△2,773	△452
新株予約権	253	200
少数株主持分	964	697
純資産合計	110,197	113,345
負債及び純資産合計	168,517	163,917

≫≫ 連結損益計算書

(単位:百万円、単位未満切捨て)

科目	当期	前期
	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで
売上高	136,621	133,705
売上原価	102,717	97,295
売上総利益	33,904	36,409
販売費及び一般管理費	32,880	33,324
営業利益	1,023	3,085
営業外収益	1,111	1,346
営業外費用	1,159	1,146
経常利益	975	3,285
特別利益	4,181	2,842
特別損失	2,842	3,110
税金等調整前当期純利益	2,315	3,016
法人税等合計	1,905	1,213
少数株主損益調整前当期純利益	410	1,803
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△160	6
当期純利益	571	1,796

≫≫ 連結包括利益計算書<参考>

(単位:百万円、単位未満切捨て)

科目	当期	前期
	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで
少数株主損益調整前当期純利益	410	1,803
その他の包括利益	△2,352	△3,459
包括利益	△1,942	△1,656

|| 資産合計

前期比45億円増加

たな卸資産60億円の増加、期末休日影響額17億円を含む売掛金等24億円の増加及び投資有価証券41億円の減少などにより、全体では45億円の増加となりました。

|| 負債合計

前期比77億円増加

借入金（コマーシャルペーパーを含む）101億円の増加及び退職給付引当金24億円の減少などにより、全体では77億円の増加となりました。

|| 純資産合計

前期比31億円減少

株主還元による18億円の減少（配当14億円、自己株式取得3億円）、その他有価証券評価差額金21億円の減少、当期純利益5億円による増加、少数株主持分2億円の増加などにより、全体では31億円の減少となりました。

売上高

前期比2.2%増

機能ソリューション事業で44億円の増収、アパレル事業で15億円の減収となり、全体では29億円の増収となりました。

営業利益

前期比66.8%減

機能ソリューション事業で5億円の減益、アパレル事業で8億円の減益、ライフクリエイト事業で5億円の減益となり、全体では20億円の減益となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

前期比64億円減少

減価償却費81億円、たな卸資産の増加60億円、期末休日影響額17億円を含む売上債権の増加24億円、仕入債務の減少11億円などにより、当期の営業活動によるキャッシュ・フローは14億円の支出となり、前期比64億円の減少となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円、単位未満切捨て)

科目	当期	前期
	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	△1,417	5,050
投資活動による キャッシュ・フロー	△7,780	△5,958
財務活動による キャッシュ・フロー	8,373	2,506
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△111	△189
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△936	1,409
現金及び現金同等物の 期首残高	6,905	5,496
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増加額	109	0
現金及び現金同等物の 期末残高	6,078	6,905

(注)△印は支出超過を表わす。

連結株主資本等変動計算書 (平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位:百万円、単位未満切捨て)

項目	株 主 資 本					その他の 包括利益 累計額合計	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
当期首残高	26,071	14,082	80,033	△7,286	112,900	△452	200	697	113,345
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△1,448		△1,448				△1,448
当期純利益			571		571				571
連結範囲の変動			99		99				99
自己株式の取得				△374	△374				△374
自己株式の処分		△2		5	3				3
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△2,320	52	267	△2,000
連結会計年度中の変動額合計	—	△2	△777	△368	△1,147	△2,320	52	267	△3,148
当期末残高	26,071	14,080	79,255	△7,655	111,752	△2,773	253	964	110,197

株式の状況

(平成24年3月31日現在)

発行済株式総数 **209,935,165株**

◎自己株式(平成23年4月1日から平成24年3月31日)

取得 1,529千株 (374百万円)

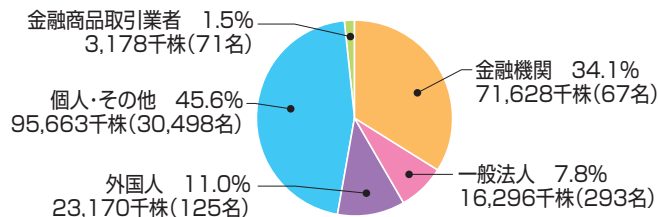
処分 13千株 (5百万円)

期末 18,369千株 (7,655百万円)

◎単元株式数：1,000株

株主数

31,054名



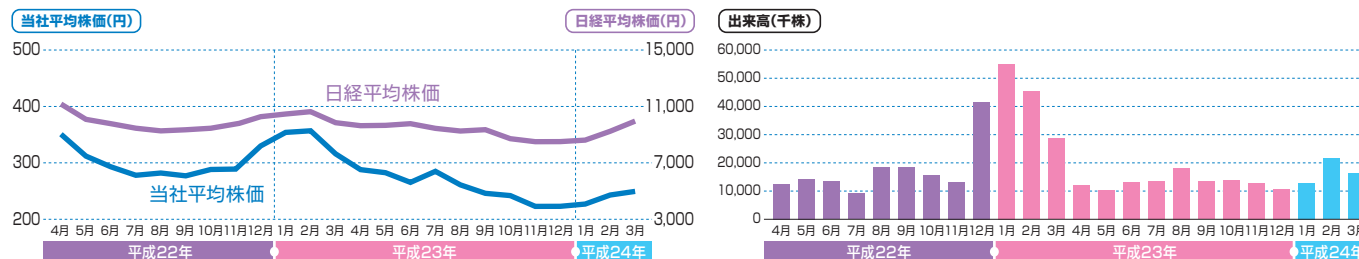
(注)円グラフは発行済株式総数に対する保有割合

大株主一覧(上位10社)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	29,723	15.51
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,131	3.20
株式会社京都銀行	5,875	3.06
第一生命保険株式会社	5,529	2.88
資産管理サービス信託銀行株式会社	4,725	2.46
日本興亜損害保険株式会社	4,380	2.28
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	3,927	2.04
株式会社GSIクレオス	3,755	1.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	3,443	1.79
グンゼグループ従業員持株会	2,377	1.24

(注)当社は、自己株式18,369千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株価・出来高グラフ



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日 定時株主総会 3月31日(毎年6月下旬開催)
期末配当金 3月31日
公告方法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場取引所 東京(第1部)、大阪(第1部)
証券コード 3002
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL:0120-094-777(通話料無料)

<ご注意>

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

会社の概況

(平成24年3月31日現在)

社名	グンゼ株式会社
設立年月日	明治29年8月10日
資本金	26,071百万円
従業員	2,082名(単体) 8,963名(連結)
本店	京都府綾部市青野町膳所1番地
大阪本社	大阪市北区梅田一丁目8番17号 (大阪第一生命ビル) TEL(06)6348-1313
東京支社	東京都中央区日本橋二丁目10番4号 TEL(03)3276-8710

主な連結子会社

福島プラスチック株式会社	Gunze Plastics&Engineering Corporation of America (米国)
グンゼ包装システム株式会社	上海郡是新塑材有限公司 (中国)
グンゼ高分子株式会社	Gunze Electronics U.S.A.Corp.(米国)
東北グンゼ株式会社	GGI Technology Ltd. (香港)
九州グンゼ株式会社	Guan Zhi Holdings Ltd. (香港)
グンゼ開発株式会社	Dong Guan Guan Zhi Electronics Ltd. (中国)
株式会社つかしんタウンクリエイト	山東冠世針織有限公司 (中国)
グンゼスポーツ株式会社	上海郡是通虹纖維有限公司 (中国)

(平成24年6月26日現在)

取締役、監査役

代表取締役会長(CEO)	平田 弘
代表取締役社長兼社長執行役員(COO)	児玉 和
常務取締役兼常務執行役員(CHO兼CRO兼CCSRO)	丹原 英夫
取締役(社外)	天野 勝介
取締役(社外)	白井 文
取締役兼執行役員 研究開発部長	鈴木 昌和
取締役兼執行役員 経営戦略部長(CFO兼CMAO)	服部 和徳
取締役兼執行役員 アパレルカンパニー一長(CLO)	浜村 眞
取締役兼執行役員 アパレルカンパニーインナーウェア事業本部長	小澤 七洋
取締役兼執行役員 アパレルカンパニーレグウェア事業本部長(CCO)	廣地 厚
監査役(常勤)	下井 幸夫
監査役(社外)	亀徳 忠正
監査役(社外)	杉山 清次
監査役	藤田 博

取締役を兼務するもの以外の執行役員は以下の通りです。

執行役員

執行役員 メディカル事業部長	鶴家 邦良
執行役員 グンゼ開発株式会社代表取締役社長	赤木 庸二
執行役員 アパレルカンパニーインナーウェア事業本部長次長	山田 篤史
執行役員 人事・総務部長(CHO代理)	赤瀬 康宏
執行役員 技術開発部長(CTO)	友松 孝夫
執行役員 経営戦略部次長(CIO)	古川 知己
執行役員 繊維資材事業部長	岡 修也
執行役員 プラスチックカンパニー一長	佐口 敏康
執行役員 エンプラ事業部長	木村 克彦

(注)当社は、チーフオフィサー制度を採用し、チーフオフィサーで構成する経営執行会議にて、経営重要事項の審議を行い、意思決定の迅速化を図っております。

CEO	Chief Executive Officer(最高経営責任者)	CFO	Chief Financial Officer(財務担当)
COO	Chief Operating Officer(最高執行責任者)	CMAO	Chief Management & Accounting Officer(経営・管理担当)
CHO	Chief Human-Resources Officer(人事担当)	CLO	Chief Logistics Officer(物流担当)
CRO	Chief Research & Development Officer(研究開発担当)	CCO	Chief Compliance Officer(コンプライアンス担当)
CCSRO	Chief Corporate Social Responsibility Officer(CSR担当)	CTO	Chief Technical Officer(技術担当)
		CIO	Chief Information Officer(情報担当)

株主さま優待について

毎年9月末(中間時)、3月末(期末時)の株主名簿において1,000株以上の株式をご所有の株主さまに、下記の優待をご用意しております。

優待内容

中間時

当社品の贈呈、またはグンゼオンラインショップで利用できるポイントを贈呈いたします。また、贈呈に代えて東日本大震災支援への寄付も選択できます。

中間時・期末時

通販カタログ掲載商品の30%を優待割引いたします。



みなさまよりご愛顧いただいております通販カタログは、上質にこだわったインナーウエアや、ホームウエアを選びすぐった『セレストイル』と、従来からの商品が中心の『ベーシックコレクション』の2種類がございます。

株主さま優待についてのお問い合わせは
右記フリーダイヤルにお願いします。

 **0120-788-789** (受付時間 午前10時～午後5時
土・日・祝日は除く)